



AEDについて

2026年7月10日
ダイワボウHD健康保険組合

心停止後の救命率とAEDの関係性

心停止から**3分で脳障害のリスクが高まる**と言われています。
心停止が発生して3分が経過すると、脳への酸素供給が途絶えるため、
脳障害のリスクが急激に高まります。
この3分間に適切な救命処置を開始することが非常に重要です。

心停止から**3分**！



心停止から1分ごとに救命率が7～10%低下する

- ・1分経過：救命率 約**90～93%**
- ・3分経過：救命率 約**70～79%**
- ・5分経過：救命率 約**50～65%**
- ・7分経過：救命率 約**30～51%**
- ・10分経過：救命率 約**10～30%**

救急車が現場に到着するまで
平均 **8分30秒** かかると言われています

**救急車が来るまでの救命処置が
かなり大事です！**



参照：NPO法人日本ACLS協会 ガイド
総務省消防庁 救急車の到着時間と市民による応急手当の重要性

救急隊が到着するまでの手順

※一般的なフローになりますので
社内で発生した際は各会社の
フローを必ずご確認ください。

※AEDは自動で心電図解析
してくれるので、迷ったら
使用すること

※ペースメーカーがある
方には、ペースメーカー
から離して電極パッドを
つけてください
(体にペースメーカーの
突起が確認できます)

倒れている人がいたら、
肩を軽くたたきながら
大声で呼びかける

反応なし

普段通りの
呼吸あり

気道確保
・顎先挙上
・頭部後屈



気道確保
応援・救急隊を待つ

呼吸をみる

※呼吸の確認に迷ったら
すぐに胸骨圧迫

ただちに胸骨圧迫を開始
(心臓マッサージ)

人工呼吸
(可能であれば)

AEDの電源を入れ、
指示に従う



- ・胸骨圧迫は胸が5 cm沈むように
(6 cmを超えてはいけません)
- ・1分間あたり100～120回のテンポ
で実施

救急車到着前の数分間が命を救う分かれ目です

いざというときに使用できるように練習しておきましょう！

AED講習動画は消防署、日本赤十字社などの下記リンクから視聴できます

総務省消防庁応急手当WEB講習、[日本赤十字WEB動画](#)